

重点課題

- 【課題1】 文脈の中における語句の意味を理解する。「呼吸をのみこんだ」の意味をとって適切なものを選択する。(設問3(一)) 読むこと1ア (平均正答率 29.0%)
文の中で使われている言葉の意味を直感的に捉える生徒が多い。
- 【課題2】 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ。「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うか書く。(設問3(四)) 読むこと1オ (平均正答率 25.8%)
無回答率が高い。(35.5%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

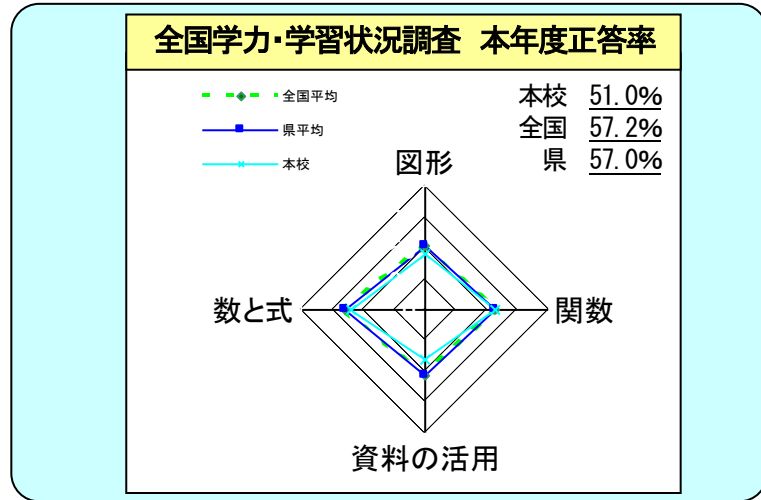
- 【課題1】 文脈の中における語句の意味を理解できる生徒が少ない。文の中で使われている言葉の意味を、文脈に即して捉えるのではなく直感的に捉える生徒が多い。慣用句やことわざなど、基本的な語彙力の定着を図りつつ、文と文、情報と情報のつながりを捉えさせ、選択したものが文脈に沿うかどうかあてはめて再考させる場を設定する。
 - 【課題2】 文章に書かれていることを根拠に記述することが苦手な生徒が多いことから、文章の読み取りが不得手または粘り強く読む力が不足していることが分かる。接続語の働きに着目させたり、行動主を確認させたりして、文章の読み方を学ぶ場を設定し、文章に表れている見方・考え方を育成する。
- ※ 小中一貫した取組については、複数の文章や資料等を結びつけて必要な情報を見付ける活動を設定する。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				2年生 R2「全国学力」	1年生 単元末テスト	2年生 R3「全国学力」	1・2年生 学年末テスト
目標値				40%	40%	50%	55%
実施後数値				46%	53%	50%	1年 84% 2年 60%

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				2年生 R2「全国学力」	1年生 単元末テスト	2年生 R3「全国学力」	1・2年生 学年末テスト
目標値 (無回答率)				20%	20%	15%	10%
実施後数値				25%	16%	21%	1年 14% 2年 5%

来年度に向けて

3学期は生徒が共感しやすい教材が多かったため、【課題1】【課題2】共に目標値を上回ったものが多かった。今回を足掛かりに、生徒に当事者意識を持たせて読解に取り組みせていきたい。



重点課題

- 【課題1】 相対度数の必要性和意味を理解している。(2つの分布の傾向を比べるために相対度数を用いること的前提となっている考えを選ぶ。設問8 (2) 平均正答率 19.4%)
- 【課題2】 データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。(「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に考える。設問8 (3) 平均正答率 9.7%, 無回答率 22.6%)
 度数分布多角形の形状のみ記述があり、結論を書けていない生徒が19.4%だった。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- 【課題1】 相対度数や代表値の値を求める練習だけでなく、度数分布表やヒストグラム、度数折れ線などそれぞれのメリットが分かり、感じることができる資料を選び指導に用いる。一方でデメリットも理解することで、それぞれの代表値やグラフの必要性を感じる場面を設定する。
 - 【課題2】 データを根拠に傾向などを読み取り、説明する場面を多く設定する。また、身近な事象について扱うことで、学習への意欲を喚起する。
- ※ 小中一貫した取組については、日常的な事柄を数学的に解釈したり説明したりする場を設定する。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				2年生 R2「全国学力」	1年生 単元末テスト	2年生 R3「全国学力」	1・2年生 学年末テスト
目標値				30%	30%	40%	50%
実施後数値				45%	50%	21%	1年 70% 2年 47%

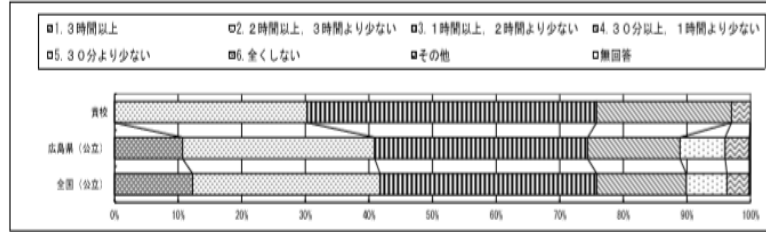
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				2年生 R2「全国学力」	1年生 単元末テスト	2年生 R3「全国学力」	1・2年生 学年末テスト
目標値				20%	20%	30%	35%
実施後数値				15%	3%	15%	1年 19% 2年 16%

来年度に向けて

根拠を基に説明を書くことができる生徒は増えたが、結論を書かずに解答を終える生徒が多かった。お互いに説明し合うようにして、正答率を上げたい。

質問紙調査 (全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査) (児童生徒学習意識等調査：生徒質問紙調査)

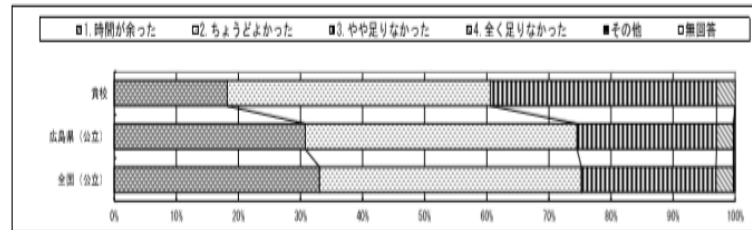
(1) 生活・学習



	生徒の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	・学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。 3年・・・2時間以上 本校 30.3% 全国 41.8% 2年・・・1時間以上 本校 32.0% 県 54.9%	・学習する内容が明確化すれば、学習に取り組むようになると思われるので、自主的に学習できる環境を整えていく。	2年	80分以上 70%	生徒アンケート	2月	2年 64% 1年 73%
			1年	70分以上 70%			

(2) 教科

解答時間は十分でしたか (国語)



	生徒の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	・解答時間が足りなかったと感じている生徒が多い。 3年・・・「時間が余った。」「ちょうどよかった。」「ちょうどよかった。」としている生徒 本校 60.6% 全国 75.3%	・「複数の文章や資料等を結びつけて、必要な情報を見付けること」など、生徒の状況に応じた指導の充実を図る。	2年	80%	アンケート	2月	2年 87%
			1年	75%			
全国・学習意識等	・「数学の授業で学習したことが、将来、社会に出たときに役に立つ」と感じている生徒の割合。 3年・・・本校 72.7% 全国 74.6%	・「日常的な事柄を数学的に解釈したり説明したりする」活動の充実を図る。	2年	75%	アンケート	2月	2年 91% 1年 57%
			1年	75%			

数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

